

電機連合富山地協第49回定期大会報告

9月9日(月)ボルファートとやまにおいて、電機連合富山地協第49回定期大会を開催しました。来賓として電機連合本部から小原中央執行委員、石上俊雄前参議院議員、連合富山から辻会長、こくみん共済 coop富山推進本部から佐々木本部長、北陸労働金庫から瀬川副理事長、電機連合協力議員の寺崎魚津市議会議員、電機連合富山地協歴代役員懇談会の藤畑会長をお迎えし、激励やお祝いの言葉を頂戴しました。

続いて「経過報告」、「2018・2019年度の運動方針の補強」、「2019年度予算」が執行部から提案され、満場一致で可決承認されました。

(報告・議案事項は、以下の通り)

【経過報告】2018年度一般経過報告

2018年度会計報告および会計監査報告

【議事】 第1号議案 2018・2019年度運動方針の補強に関する件

第2号議案 2019年度予算に関する件

第3号議案 外部役員派遣に関する件

第4号議案 役員補充に関する件

最後に大森議長の発声のもと「ガンバロー」を三唱し、閉会しました。



【議長団の皆さん】

【ご来賓の皆様】



【電機連合 小原中央執行委員】



【石上俊雄 前参議院議員】



【連合富山 辻会長】



【こくみん共済 coop富山推進本部 佐々木本部長】



【北陸労働金庫 瀬川副理事長】



【協力議員 寺崎魚津市議会議員】



【富山地協歴代役員懇談会 藤畑会長】



【2019年度富山地協新役員の皆さん】



【退任された原前常任幹事】

電機連合富山地協議長挨拶（要旨）

議長 大森 仁

電機連合富山地協第49回定期大会にお集まりの代議員の皆様、大変お疲れ様です。また、本日は大変お忙しい中、本大会の激励のため、多くのご来賓の方々にお越しいただいております。日頃より、電機連合富山地協に対しますご指導とご厚誼に、組織を代表して心から感謝申し上げます。

さて、昨年の第48回定期大会にて、新しい執行部体制でスタートし、早いもので1年が経過しました。これまでの間「富山地協と加盟組織の結束を大切に、多様性を力にできる産別運動」を基本に「信頼され、頼りにされる地協運動」を念頭におきながら、この1年間、様々な活動に取り組んでまいりました。この1年間の活動の詳細、そして向こう1年間の補強方針に関する取り組みについては、後ほどの議事の中で皆さんにお伝えしていくこととし、私からは地協に関わる主に3点ほどの課題とお願いをさせていただき、ご挨拶とさせていただきます。



まず、初めに先般施行されました第25回参議院議員選挙について電機連合富山地協の立場から触れておきたいと思います。第25回参議院議員選挙においては、富山選挙区の「西尾まさえい」さん、そして、比例代表の「石上としお」さんの当選に向け、多岐にわたる支援活動をお願いし、加盟組織の皆様方に富山選挙区、比例代表をセットで取り組みを展開していただきました。

富山選挙区の「西尾まさえい」さんについては、約1ヶ月間の短期集中の取り組みではありましたが、この間、加盟組織の皆様には、厳しい動員要請やボランティア要請に対してしっかりと応えていただきました。結果は残念な結果となりましたが、次に繋がる取り組みになったと考えています。また、比例代表の「石上としお」さんについては、全国の電機の仲間から19万票を超える大きな支持をいただきましたが、国民民主党の比例枠3に対する4番目ということで、こちらも残念な結果となりました。これまで電機連合に集う働く仲間の声に耳を傾け、「電機産業の未来を何とかしたい」という熱い想いを持ち、様々な政策実現に取り組んでこられました「石上としお」さんを再度、国政に送り出すことができなかったことについては、富山地協の立場としてもとても残念でなりません。今回の選挙結果は、投票率が低かったことや、国民民主党の知名度の低さが明暗を分けたことも事実ではありますが、決して他責にすることなく富山地協としても、電機連合本部と連携を図りながら、しっかりと総括をしていきたいと思います。

次回の参議院議員選挙は、矢田わか子参議院議員の選挙になります。富山地協としても、これから3年後に向けて、選挙期間だけの取り組みではなく、日頃から組合員との接点を増やしながら、矢田わか子参議院議員の再選に向け、引き続き政策・制度実現に向けた取り組みを進めていきたいと考えておりますので、ご理解とご支援の程、宜しくお願いいたします。

次に2019年闘争の振り返りと闘争に対する想いについて触れたいと思います。

まず、2019年闘争の電機産業を取り巻く環境は、中間組合企業を中心に約4割以上の企業が増収増益の見込みの中で、米中貿易摩擦等の影響により厳しい企業が存在したものの、全体的に企業業績は横ばいから上向き傾向の概ね良好ということ、そして多くの企業で人手不足感が拡大傾向にあり、企業側にも賃上げする余地はある中での闘争になりました。

結果として中間組合においては「1,000円の賃金水準改善」となりました。これは、昨年比500円の目減りとなりましたが、過去6年間の水準改善の累計としては1万円の上積みを図ることができました。また、これまで富山地協としても課題視しておりました高卒初任給についても、昨年に引き続き、大卒初任給を500円上回る1,500円の改善が図れたことは、地協の立場としても高く評価したいと思います。

その様な中、富山地協13加盟組織中9組合において電機連合のハドメ基準となった1,000円以上で妥結、集約することができ、6年連続の月例賃金の引き上げを図ることができました。その中でも今回、親会社を超える回答を引き出した組織もあり、富山地協内においても「底上げ、格差是正」の取り組みを一定程度前進させることができたと考えております。一時金においても、昨年度と比較して全体加重平均では金額、月数共に大きく上回ることができました。中には、一時金が年間8カ月以上と言う驚異的な回答を引き出していただいた組織もあり、大変羨ましく思う次第です。この流れを着実に、2020年闘争に結び付けていかなければならないものと考えております。

富山地協としても、電機連合本部と連携し、これまで以上に各種分析支援、情報提供の強化を図ると共に、富山地協内での情報交換や連合富山の共闘連絡会議の活用など、地協主体の闘争支援にも力を入れていきますので宜しくお願いします。

3点目は富山地協結成50周年記念事業についてです。

富山地協は、2020年9月に結成50周年と言う大きな節目を迎えることになります。昨年の定期大会で富山地協の加盟組織の皆さんと共に50周年という大きな節目に相応しい記念事業の開催に向けた検討に着手すると言う判断をし、富山地協結成50周年記念事業プロジェクトを立ち上げました。いよいよ今年度は、結成50周年記念事業プロジェクトで決めた大筋の内容について記念事業実行委員会を立ち上げ、詳細を決めていきたいと思ひます。後ほど、結成50周年記念事業（案）を提案させていただきますので、宜しくお願い致します。思いとしては、富山地協の加盟組織全体で50周年を祝える様な、また、何より組合員と家族の皆さんに感謝の気持ちを表すことができ、また、富山地協として一体感の醸成を図ることができる記念事業にしたいと思ひます。そして、50年以降もこれまで以上に産別運動を発展させていくための活動を引き継いでいきたいと考えています。是非、50周年記念事業に対しましても皆さん方のご理解とお力添えをお願いいたします。



結びになりますが、富山地協は、県下における中核産別組織としての「責任と役割」をしっかりと果たし、さらなる組織拡大に加え、構成組織の力と知恵を結集するとともに、何より職場組合員の「期待と信頼」に応えるべく運動を展開していきたいと思ひます。

本日ご臨席の皆様のご健勝とご活躍、そして各組織のご発展、ご活躍を祈念し、執行部を代表しての挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願い申し上げます。

8月4日（日）JCM富山県連絡会主催の「親子ものづくり体験教室」が開催されました。

今年度は、午前の部では、低学年を対象としたペットボトルの空き容器を使って作成する「ソーラーカー」の製作、午後の部では、高学年を対象とした発光ダイオードから発射された光が反射されるかどうかを光センサーがキャッチして進む「ライントレースカー」の製作を、午前31組、午後15組の親子に体験していただきました。

午前の部では、組立作業に思っていたより手間がかかりましたが、親子で組み立て図と部品を見比べ試行錯誤しながら作業を行って頂き、オリジナルのソーラーカーが完成しました。試運転では太陽の光を浴びてボルファートとやまの庭園をソーラーカーと子供たちが駆け回りました。

午後の部では、初めて行う半田付け作業に悪戦・苦闘しながら製作を進めていきました。すべての半田付け、組み付けが終わった後、会場に用意したコースで試走を行いました。最初は思ったように走行せず、スタッフの方々に調整してもらった後、ライン通り走行するようになった時の子供たちは、達成感や満足感を感じていました。



くらしの法律相談窓口

電機連合富山地協では、セーフティネット構築の一環として、組合員やそのご家族の方が安心して生活できるよう「くらしの法律相談」を開設し、山田法律事務所と契約しています。一人で考えるより、まずは、弁護士に相談してみてください。

相談方法は、ホームページもしくは所属する組合事務所で法律相談申込書を用意し必要事項を記入の上、組合事務所から山田法律事務所へお送りください。

申込み後の相談については、プライバシー保護の観点から顧問弁護士との電話、または面談による直接の相談となります。顧問弁護士は、電機連合の取り組み趣旨に沿って協力できる方と契約していますので、一時間程度の相談は無料、実務などが発生した場合でも、個別の事情に合わせて安心できる費用で対応しています。

山田法律事務所 弁護士 山田 博

富山市西田地方町2-6-10

T E L : 076-420-1212

F A X : 076-420-1800

※法律相談申込書（富山地協公式ホームページからダウンロードできます）

URL : <https://www.jei-u.jp/toyama/activity/news/1704251312/>



第47回

リレーコラム

私のお気に入り

SMK労働組合富山支部 台本 和義

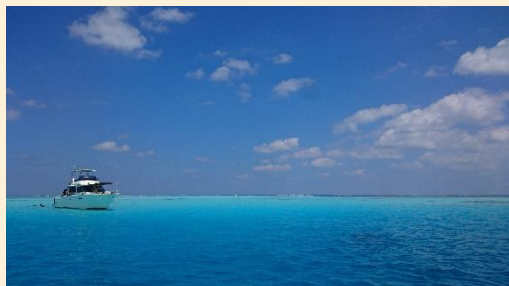
2016年GW、初めて沖縄旅行に行った際に旅行誌で知って訪れた波照間島。目にした海の色に衝撃を受けました。以来、毎年沖縄に行っています。特に八重山諸島が気に入っています。コンビニもなくWiFiもなかなか繋がらない不便な場所ですが、ほかでは味わえない独特の時の流れを感じることが出来ます。おすすめは波照間島です。ニシ浜のすぐそばのペンション最南端に泊り、好きな時に泳ぎに行き疲れたら部屋で休む。これが最高です。ツアーに参加しなくてもシュノーケリングが楽しめます。

2016年5月沖縄本島・石垣島・波照間島。9月久米島

2017年5月与那国島・波照間島。7月沖縄本島。8月西表島・鳩間島。9月宮古島。

2018年5月宮古島。9月小浜島・竹富島。

八重山諸島に関して行ってない離島は黒島と新城島のみです。実はこの2島、今年9月下旬に旅行の計画をしています。あとは台風が来ないことを祈るのみです。



今回のリレーコラムは、北陸電気工業労働組合の柳瀬委員長にお願いします。

労組紹介コーナー

富士電機労働組合本社支部北陸分会

分会長 遠藤 学

富士電機労働組合本社支部北陸分会は、富山市中心部の富山電気ビルディング3階にあります。通称電気ビルは、第二次世界大戦以前に竣工した県内初の複合オフィスビルであり、富山大空襲を耐え、建築当時の外観が現在もほぼ保たれている歴史のあるビルです。松川沿いに建っているので、春の桜並木は目を見張るものが有ります。とてもきれいですよ♪

ここには、グループ会社含め40名在籍しており、内組合員数は25名です。(福井・石川・富山・新潟の全各拠点合計で67名在籍・内組合員数45名)

ボウリング大会・バーベキュー・大忘年会と一年を通してイベントを開催し親睦を深めております。今後も、労使共に協力しながら楽しく仕事ができる環境作りを目指して活動していきたいと思います。

次回は、北陸電気工業労働組合の紹介です。



電機連合 富山地協ホームページ

<https://www.jeiu.jp/toyama/>

URLを直接入力、または
「電機連合富山地協」と検索

電機連合富山地協

Q 検索

編集後記

老後の生活の不足額への対応(30年で2000万円)がクローズアップされています。皆さん、電機連合ねんきん共済で対応しましょう！

(森川)